

西畑地区より



地区の皆さんに感謝です

井本 周平さん(45歳)

キュウリを栽培して約16年になります。親が農家であることがきっかけでしたが、頑張ったぶんの結果がしっかり出た時や、毎年違った課題をクリアしていくことにやりがいを感じ、今では胸を張って「楽しい!」と言えるようになりました。仕事の合間に相談に乗ってくれたり、たくさんの知識を与えてくれる西畑地区の先輩方のおかげでもあります。地区の方々には感謝しかありません。

就農と同時期に釣りにもハマりました。近場だと仁淀川、夏場は四万十方面などへ遠征に行くこともあります。大きな魚が釣れたときの喜びは、お金では買えない価値があるなあ毎回感動しますね。

甘えん坊のお姉さん!?

佐藤 おもち(4歳)♀

飼い主さんいわく、恐がりでお内弁慶な性格のおもちちゃん。特技は、玄関のチャイムが鳴ったら1秒でリビングから脱走すること! お魚全般とチュールが大好きで、日向ぼっこや、飼い主さんのスリッパをボロボロにすることにもハマっています♡

おもちちゃんには、甘えん坊な一面も☆ 必ず飼い主さんと一緒に寝たがるので、夜遅くなくてもひたすらリビングで待機! 飼い主さんがベッドへ入った音がすると、2~3分後に追いかけてくるそうです。ベビー用品を我が物顔で使う姿も可愛いですが、お子さんを優しく見守る視線はまさにお姉さんそのものです♪

高知地区より



高知地区

から こんには 今月の○○ 気になる人

高知地区より



夏の○○が楽しみです!

三谷 理恵さん

組織人事部 教育人事課に所属し、主に職員の労務管理に関する業務を行っています。

仕事柄、運動不足になりやすいので身体を動かしてリフレッシュすることを心がけており、休日はよくウォーキングに出かけています。特に初夏の景色は、新緑のみずみずしい若葉が楽しめるのでオススメですよ。

モモやブドウなど、夏のフルーツが大好きなので毎年楽しみにしています。JAファーマーズマーケット「とさのさと」に並ぶのが、今年も待ち遠しいです!

2人とも○○が大好き!

石田 隼大くん(7歳)
卓己くん(5歳)

隼大くん: マイペースで、キャラクターに例えると「クレヨンしんちゃん」のようなマイワールドを持っている明るい性格! ゲームや自衛隊が好き。

卓己くん: 天真爛漫! 幼稚園ではよく、ブロック遊びや三輪車を楽しんでいます。

<お母さんより>

隼大はよく、卓己にかまってほしくてちょっかいをかけていますが…嫌がられることもしばしば…ですがとても仲良しで、2人ともおばあちゃんが作ったブドウが大好きです♡ これからも芯を持った今の性格を大切に、自分らしく素直に成長して欲しいです。

弘岡上地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 仁淀川地区

「土佐文旦」知事へ贈呈



「土佐文旦」をPRする濱田知事（左から4番目）

高知の特産かんきつ「土佐文旦」の生産者や関連機関で組織する土佐文旦振興対策協議会は2月10日、高知県庁を訪れ、濱田省司知事に「土佐文旦」を贈呈しました。贈ったのは「土佐文旦」の中でも各種の基準をクリアしたJA高知県のブランド「てんたん」と「だるま文旦」。同協議会の青木秀成会長は「今年の土佐文旦は近年の中でも一番おいしい。後味がよくかわりをしたくなると思う。楽しんでほしい」と魅力を伝え、濱田知事は「しっかりと甘みがあって、上品でおいしい」と味わいました。

3 高知地区

花いけバトル決勝大会・岡豊高校が全国4位



入賞した岡村さん④と徳弘さん

香川県で1月22、23日に「第5回全国高校生花いけバトル決勝大会栗林公園」が開かれ、県立岡豊高校3年（当時）の徳弘りなさん、岡村詩さんのチームが4位に入賞しました。大会では、高校生が2人1組で会場を用意された花や枝物の中から自由に選び、5分間で即興の作品を仕上げ、出来栄などを競います。2年生の時に学校で開かれた体験教室で花いけバトルに出会い、練習会に参加して経験を積んできた徳弘さんと岡村さん。「花や葉の向きに気を配り、一番きれいな見せ方を考えた」「色の効果を意識し、季節感も取り入れた」と入賞を喜びました。

6 JAグループ高知

レシピブロガーが魅力発信 高知野菜をPR



「からだが好き」高知の恵みたっぷりレシピ」として特設ページも公開されています

JAグループ高知は、日本最大級の料理ブログポータルサイト「レシピブログ」に登録する料理インフルエンサーと協力し、高知野菜を活用したレシピを紹介する企画を実施しています。「高知クッキングアンバサダー」として10人のブロガーを選出し、ブログでオリジナルレシピとともに高知野菜の魅力発信、使用する農産物はJAが毎月3品目提供しています。期間は令和4年2月～6月までを予定。SNSやYouTubeで公開しているレシピもありますので皆さん、ぜひ活用ください。

4 高知県園芸品販売拡大協議会

県産ピーマンで乾杯！



動画はJA高知県のInstagram等で閲覧できます。ぜひご覧ください

高知県園芸品販売拡大協議会は、県産ピーマンのPR動画を作成。JA高知県の公式SNSで配信し、スーパー「サニーマート」で3月12、13日に開催した「JAグループ高知フェア」の宣伝に使用しました。収穫風景は土佐市高岡町のハウスで撮影。調理シーンにはJA職員2人が出演し、「焼きピーマンのトマトソース」などを食卓に並べ、楽しく食事するシーンが収録されています。ビールで乾杯し、もりもり食べる画を盛り込むことで食欲をそそるよう演出。コロナ禍のおうち時間に、高知県産品を活用して楽しめることを伝える動画に仕上がっています。

高知市の県立ふくし交流プラザで3月12日、「親子あぐりスクール」第5回目の活動と修了式を開きました。親子14人が参加し、調理実習や工作を行いました。家の光協会が発刊する小学生向け月間教育誌「ちゃぐりん」2021年3月号掲載の「大豆のキーマカレー」や「ジャガイモのミルク煮」など4品を調理。児童らは、JA職員から作り方を学びながら完成させ、親子で昼食を楽しみました。記念品づくりでは、ナス、トマト、ピーマンなど



修了式に参加したあぐりスクール2期生のみなさんとスタッフ

高知野菜をテーマにフェルトでコースターを作ったり、紙コップで作った移動型ロボットでドングリ運びレースをして盛り上がりました。修了式にはJA高知県のキャラクター「コチット」も登場し、統括本部の大坪一彦部長が1人ひとりに修了証書を手渡ししました。参加したスクール生は「野菜を収穫したり、牛舎を見学したことで高知の農畜産物を意識するようになった。また参加した」と感想を話しました。

1 高知地区

親子あぐりスクール修了式 第2期生が卒業



懇談会に参加した先輩職員

2 高知地区

1 DAY 仕事体験 オンラインで開催

JA高知県は2月上旬の2日間、令和4年冬季JA高知県1 DAY 仕事体験を開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインとし、来年3月に卒業見込みの大学生ら18人が参加しました。JAの仕事内容や農業情勢については資料を共有し、実際に各事業で勤務する職員の様子やインタビュー内容などは動画を使用して説明。集出荷場などの現場見学ができなくなったかわりに、JAグループ高知の公式YouTubeチャンネルで配信している「物部ゆず」が出荷されるまでの動画を流すなど工夫も

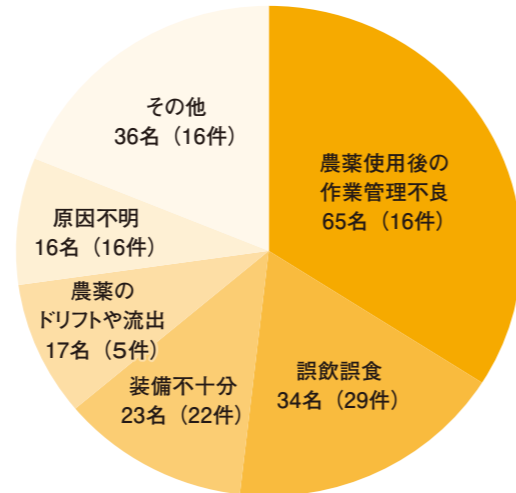
施しました。また、ウェブ上でグループに分かれ先輩職員との懇談会を実施。「業務の1日の流れが知りたい」「JAに入る前と現在とで印象は変わったか」など積極的な質問が出され、現場で経験したエピソードなどを交えつつ先輩職員が丁寧に答え交流しました。その後、若手職員の職場での実例を基にしたテーマでグループワークも実施。参加した学生からは「職場の良い雰囲気伝わってきた」「自分も職員の1員になりたいと思った」などの感想が聞かれました。

高知農業改良普及所より

農薬の安全使用について

農薬の安全使用について、農林水産省では毎年水稲における農薬散布の多い6～8月を農薬危害防止運動期間としています。今年のテーマは「農薬は、周りに配慮し、正しく使用」となっています。

図は、過去5年間に全国で発生した主な農薬事故について、原因別に分類した図です。



「農林水産省農業コーナー農業の使用に伴う事故及び被害の発生状況について」より引用

図 過去5年間の農業の使用に伴う事故及び被害の発生状況 人に対する事故（原因別）

被害人数の多い事項と対策は以下のとおりです。

1) 被覆が不十分であった等、農薬使用後の管理の不良

件数では三番目ですが、被害人数が最も多く、第三者が被害を受ける可能性が高いので、特に土壌くん蒸剤の使用時には事故を起こさないよう注意して作業してください。

【対策】

- ・土壌くん蒸剤を使用する際には被覆を完全に行う。（施設内処理でも被覆する）
- ・住宅地の周辺ではできるだけ太陽熱消毒等にして、土壌くん蒸剤の使用を避ける。
- ・使用時には立て札等を立てて、注意喚起を行う。

2) 保管管理不良による誤飲誤食

農薬事故で最も多い件数を占めており、原因不明に区分されている中でも誤飲誤食が疑われる事例も多い。重篤な症状につながる危険性が高いので注意が必要です。

【対策】

- ・農薬はカギのかかる保管庫で保管するなど、管理を徹底する。
- ・容器の移し替えは厳禁。
- ・飲食する場所では農薬を扱わない。農薬を扱う場所では飲食しない。
- ・農薬は必要量を購入し、必要量を規定の倍率で作成し、使い切る。



3) メガネ、マスク、服装等の装備が不十分

【対策】

- ・薬液散布および調整するときは、防護装備を適切に着用する。
- ・薬剤散布後は身体に付いた汚れを洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。

これらの人に対する事故以外にも、農薬の河川への流入によるとみられる魚のへい死事故は毎年発生事例があります。農薬が河川に流入しないように注意するとともに、散布後に残った調整液はほ場に吸着させるなど適正な処理を行いましょう。

問い合わせ先：中央西農業振興センター 高知農業改良普及所
(TEL.088-861-0711 FAX.088-861-0660)

えい|の|う|へ

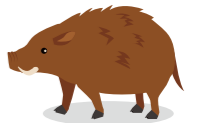


鳥獣被害対策専門員からのお知らせ



鳥獣被害対策専門員 上地 かみじ かずひさ 和久
携帯電話:090-3189-0373

狩猟者を育成し農業を守る



電気柵やワイヤーメッシュ柵を設置しても被害防止ができないケースがありますが、以前にも述べたように最終手段として狩猟が挙げられます。農家さんが結束して狩猟免許を取得し、自らの地域を守る事例もあります。

高知県の人口当たりの狩猟免許取得率は全国でもトップクラスですが、高齢化に伴い実際に活動されている狩猟者は減少傾向のようです。そこで若年層の狩猟者を育成することが喫緊の課題ですが、本来の仕事と両立しながらの狩猟は困難といえるでしょう。

管内では地域や社会貢献の一環として使命感を持ち狩猟を行っている方や、ベテラン猟師に師事している若き女性もいらっしゃいます。

鳥獣被害対策専門員は、被害相談はもちろん、狩猟免許の取得などもサポートします。お気軽にご連絡ください。



わな猟における柵わなの設置

イノシシの足跡を辿る

ベテラン猟師（左）によるくりわなの設置指導

春野営農経済センター

農薬の安全使用と使用履歴記帳（記録）について

■使用前は必ず農薬に貼られているラベルの確認をしましょう!!

注意のポイント：【使用する作物】に応じて農薬に貼ってあるラベルを確認のうえ使用しましょう

注意のポイント：農薬散布の前には、事前に使用時期や回数もチェックしておきましょう

作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
カブ	アブラムシ類	3,000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布
トマト	コナジラミ類	1,000～1,500倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布

注意のポイント：記帳は農薬名だけでなく【希釈倍数/使用液量】も記帳しましょう

■ 使用後は必ず使用履歴の記帳（記録）をしましょう!!

○農薬散布の履歴記帳（記録）は、農薬使用者が遵守すべき義務となっています

○記帳内容 ①使用年月日 ②作物名 ③農薬名 ④希釈倍数および使用量

○記帳（記録）は最低3年間保管しましょう

もし問題等が発生した場合に、作業の内容を証明できる唯一の手段になります



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

わたしはいちごが大好きです。この様な高級苺が高知で生産されているのを「こうぐり」の2月号を読んで初めて知りました。高知のスーパーで見た事ありません。一度食べてみたいです！

(春野町南ヶ丘 60歳)

高級イチゴを試行錯誤しながら生産・販路開拓等素晴らしいと思います。最初は大変な思いだったとおもいます。高知にも素晴らしい人材が沢山おられますね。人口減少の途を辿りますが、何とかいろんな方面から魅力ある高知にし、人口流出を止めたいものです。

(春野町芳原 73歳)

高級イチゴ、ぜひ食べてみたいです。孫もイチゴが大好きなので一緒に食べれるといいなと思いました。

(春野町西分 60歳)

「おおきみ」初めて知りました。食べるのが勿体ない位、立派で見事なイチゴですね。おおきみが順調に生産拡大して、高知を代表する品種に育てて欲しいですね。

(春野町弘岡中 72歳)

こんなにも大きないちごが栽培されていることを初めて知りました。海外に目を向け販路を広げていることも素晴らしい取り組みだと思えます。高知から世界へ！応援しています。

(春野町平和 55歳)

▼2月号の特集で取り上げた県産ブランドイチゴ「おおきみ」について、「初めて知った！」「大きくて立派！」「世界へ向けた取り組みに驚き」などたくさんのご感想をいただきました。応援の声も多くありましたので、ここで少しですが紹介させていただきますね！

三山ひろしさんが載っていたのにビックリしました！高知なすの宣伝隊長なのですね。三山さんオススメのなすを使ったお料理、食べに行きたいです。期間限定なのですね。間にあつたら食べに行きます！高知県に遊びに行く予定を立てなきゃです。

(大分県別府市 35歳)

▼三山さんは宣伝隊長として、色々なメディアで高知なすを紹介してくださっています(もちろん他にも、高知の様々なものを話題にしてくれています)が、コロナ禍で大変ですが、無事に食べに行くことはできましたか？

最近、家族みんなで改めて農業に興味を持ち始めています。美味しい野菜・果物を買うだけではなく、作り、販売してみたいです。

(高知市百石町 48歳)

▼家庭菜園など、手軽にできるものからぜひチャレンジ！気にかけて手をかけた分の結果がでる楽しさを、ご家族でぜひお楽しみください！☆

コロナ禍が続いていますが、お二人様でも楽しめる事を見つけながら「頑張ってる私にご褒美」と、高級苺大福を買っちゃいましたあ。超美味!!

(高知市幸町 54歳)

▼頑張った自分にご褒美、良いですね！いつもよりちょっと高級なものを買えた幸せ、そして食べられる至福の時間…。私も今日は、何かご褒美用意しようかな！

高知県のゆず、フルーッとマト、ケンピ、カツオのたたき、そして高級イチゴ。青い空、青い海、きれいな川、高知ハンザイです！

(春野町平和 74歳)

▼多くの自然に囲まれ育まれた、たくさんの高知の農畜産物！最高！ハンザイ！

【連絡先一覧表】

高知地区 (春野町)

企画課	894-3033
春野支所	
信用課	894-2203
共済課	894-3304
金融渉外課	894-3309

他組織・子会社等

高知中央サービスセンター (事故処理)	821-6015
(株)JAエナジーこうち 春野給油所	828-6212
ルミエールはるの	(フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911
春野農機センター	894-5290

春野営農経済センター

購買課	828-6111
Aコープはるの 直販所「春の里」	894-2225
重油係	828-6115
ビニール加工場	894-4264
経済渉外課	828-6111
JAグリーンはるの店	828-6161
配送部門	828-6113
販売課	894-2222
養鰻出荷・加工場	894-5424
営農指導課	894-5660
はるちゃんのアイス屋	894-2760